

平成27年度

川崎市予算案について



平成27年2月

(表紙写真)

市内の小中学校で実施している「地域の寺子屋」の様子です。
地域ぐるみで子どもの教育・学習をサポートする仕組みづくりが進んでいます。

はじめに

～「最幸のまち かわさき」をめざして～

我が国経済は、個人消費などに弱さがみられるものの緩やかな回復基調が続いており、先行きについても、各種政策の効果などにより、緩やかな回復が期待される一方で、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要があるとされています。また、消費税率引上げ時期の変更の影響とともに、少子高齢化の一層の進展を背景とした社会保障制度改革の動向等についても、引き続き注視していく必要があります。

このように社会経済環境が大きく変化する中で、本市においては、市税収入や地方消費税交付金の増加が見込まれるものの、普通交付税・臨時財政対策債が大幅に減少することに加え、平成26年度に行われた法人市民税の一部国税化による影響が拡大することなどの要因が重なり、歳入全体では増加が見込めない状況となっています。

しかしながら、こうした中においても、市民の皆様の暮らしをしっかりと支える基礎自治体の役割を持続的に果たしていけるよう、平成27年度予算につきましては、**「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」**の実現に向け、次の考え方を基本に編成を行いました。

「最幸のまち かわさき」の実現に向けた両輪のひとつである**「安心のふるさとづくり」**については、まずは、**待機児童の解消**に引き続き取り組むとともに、**小児医療費助成制度の拡充**や**中学校完全給食の実施**に向けた取組を着実に推進してまいります。また、災害に強いまちづくりや高齢者福祉・障害者福祉など、身近な市民生活を支える取組についても、しっかりと対応してまいります。

さらに、こうした「安心のふるさとづくり」を将来にわたって安定的に進めるためには、本市が今後も持続的に成長していくことが必要であり、もうひとつの車輪である**「力強い産業都市づくり」**についても、成長産業分野におけるイノベーションを進める取組や、臨海部における国際戦略拠点の形成、交通ネットワークの充実・強化などの施策を推進するために、必要な予算を配分したところです。

また、これらの施策を実現し、将来にわたって「最幸のまち かわさき」であり続けるためには、**持続可能な行財政基盤の構築**が必要であるため、ゼロベースからの事務事業の見直しや施策・事業の重点化を進めるとともに、将来負担も勘案した**中長期的な視点に立った行財政運営**に取り組んでまいります。

平成27年度予算は、私が市長に就任して初めて本格的に編成した予算となりますが、**「川崎を一步先へ、もっと先へ」進めるためのさまざまな「芽を育てる」予算**となったものと考えております。

現在、「最幸のまち かわさき」の実現に向け、新たな総合計画等の策定を行っておりますが、その間においても、必要な施策を切れ目なく推進するとともに、持続可能な行財政基盤の構築に向けた取組を適確に進めるため、この予算と、施政方針及び「行財政運営に関する改革プログラム」に基づき、市政運営に取り組んでまいります。

「全ては市民のために」を基本に、私をはじめ職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

目 次

1	予算案のポイント	1 P
2	予算の規模	3 P
3	一般会計予算案の概要	5 P
	歳入予算	5 P
	歳出款別（目的別）予算	7 P
	歳出性質別予算	9 P
4	平成27年度予算において特に重点的に取り組む事業	11 P
5	中長期的な収支見通し	21 P
6	行財政改革の取組	23 P
7	平成27年度予算の主な事業	31 P
	基本戦略1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり	31 P
	基本戦略2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	34 P
	基本戦略3 市民生活を豊かにする都市基盤と環境づくり	37 P
	基本戦略4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり	40 P
	基本戦略5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり	42 P
8	局区別予算	44 P
	総務局	45 P
	総合企画局	47 P
	財政局	49 P
	市民・こども局	51 P
	こども本部	53 P
	経済労働局	55 P
	環境局	57 P
	健康福祉局	59 P
	まちづくり局	61 P
	建設緑政局	63 P
	港湾局	65 P
	消防局	67 P
	教育委員会事務局	69 P
	会計室・市民オンブズマン事務局	71 P
	選挙管理委員会事務局・監査事務局・人事委員会事務局	72 P
	議会局	73 P
	7区共通予算	74 P
	川崎区	75 P
	幸区	77 P
	中原区	79 P
	高津区	81 P
	宮前区	83 P
	多摩区	85 P
	麻生区	87 P
	上下水道局	89 P
	交通局	91 P
	病院局	93 P
	特別会計予算	95 P

〔参考〕

1 予算と収支推計との比較	100 P
2 市債残高等の将来推計	101 P
3 予算編成でのさまざまな取組	102 P
4 財政運営上の基準とする指標との比較	104 P
5 戦略的な資産マネジメント	105 P
6 予算編成の過程	107 P
7 款別にコストを把握するための取組	115 P
8 身近な施策の財政負担の状況	116 P
9 完成予定の主な施設	117 P

〔資料〕

1 各会計歳出予算集計表	120 P
2 一般会計歳入予算（款別）	121 P
3 一般会計歳出予算（款別）	122 P
4 一般会計自主依存財源別予算	123 P
5 一般会計歳出性質別予算	124 P
6 一般会計市税予算	125 P
7 市債の状況（一般会計・全会計）	126 P
8 基金残高の状況	127 P
9 市民1人あたりの予算の使いみち（一般会計）	128 P
※ 平成27年度予算編成について	129 P